

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2006-133692 (P2006-133692A)

【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報 2006-020

【出願番号】特願 2004-325441 (P2004-325441)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/28 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/28 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 D

G 0 9 G 3/20 6 1 1 J

G 0 9 G 3/20 6 1 2 U

G 0 9 G 3/20 6 2 4 M

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 2 D

G 0 9 G 3/28 H

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 25 日 (2007.7.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 フレーム画像を複数のサブフレームにて構成した表示装置であって、
前記 1 フレーム画像の表示率を検出する検出部と、
発光輝度と発光効率が異なる 2 種類以上のサステインパルスの中から 1 つを、前記表示率に応じてサブフレーム毎に選択して出力するサステインパルス出力部と、を有し、
前記サステインパルス出力部は、前記表示率が大から小に変化するに伴い、前記 2 種類以上のサステインパルスの内の発光効率の高いサステインパルスから発光輝度の高いサステインパルスへのサステインパルスの選択の変更を、輝度比の小さい下位側サブフレームから行うことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記発光効率の高いサステインパルスは、電力を時間的に分散させた第 1 のサステインパルスであって、

前記発光輝度の高いサステインパルスは、電力を時間的に集中させた第 2 のサステインパルスであることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記表示率が大から小に変化するに伴う、前記第 1 のサステインパルスから前記第 2 のサステインパルスへの変化において、所定の比率でサステインパルス数が減少することを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記サステインパルス出力部は、前記表示率が大から小に変化するに伴って全てのサステインパルスが前記第 2 のサステインパルスに変化した後、更に前記表示率が小に変化する

ると、前記第 2 のサステインパルス数を増大させることを特徴とする請求項 3 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 のサステインパルスは、ローレベルから立ち上がって第 1 のハイレベルにクランプされ、その後に前記第 1 のハイレベルから立ち上がって第 2 のハイレベルにクランプされることを特徴とする請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 6】

1 フレーム画像を複数のサブフレームにて構成した表示方法であって、
前記 1 フレーム画像の表示率を検出する検出ステップと、
発光輝度と発光効率が異なる 2 種類以上のサステインパルスの中から 1 つを、前記表示率に応じてサブフレーム毎に選択して出力するサステインパルス出力ステップと、を有し、

前記サステインパルス出力ステップは、前記表示率が大から小に変化するに伴い、前記 2 種類以上のサステインパルスの内の発光効率の高いサステインパルスから発光輝度の高いサステインパルスへのサステインパルスの選択の変更を、輝度比の小さい下位側サブフレームから行うことを特徴とする表示方法。

【請求項 7】

前記発光効率の高いサステインパルスは、電力を時間的に分散させた第 1 のサステインパルスであって、

前記発光輝度の高いサステインパルスは、電力を時間的に集中させた第 2 のサステインパルスであることを特徴とする請求項 6 に記載の表示方法。

【請求項 8】

前記表示率が大から小に変化するに伴う、前記第 1 のサステインパルスから前記第 2 のサステインパルスへの変化において、所定の比率でサステインパルス数が減少することを特徴とする請求項 7 に記載の表示方法。

【請求項 9】

前記サステインパルス出力ステップは、前記表示率が大から小に変化するに伴って全てのサステインパルスが前記第 2 のサステインパルスに変化した後、更に前記表示率が小に変化すると、前記第 2 のサステインパルスの数を増大させることを特徴とする請求項 8 に記載の表示方法。

【請求項 10】

前記第 1 のサステインパルスは、ローレベルから立ち上がって第 1 のハイレベルにクランプされ、その後に前記第 1 のハイレベルから立ち上がって第 2 のハイレベルにクランプされることを特徴とする請求項 7 に記載の表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一観点によれば、1 フレーム画像を複数のサブフレームにて構成した表示装置であって、前記 1 フレーム画像の表示率を検出する検出部と、発光輝度と発光効率が異なる 2 種類以上のサステインパルスの中から 1 つを、前記表示率に応じてサブフレーム毎に選択して出力するサステインパルス出力部と、を有し、前記サステインパルス出力部は、前記表示率が大から小に変化するに伴い、前記 2 種類以上のサステインパルスの内の発光効率の高いサステインパルスから発光輝度の高いサステインパルスへのサステインパルスの選択の変更を、輝度比の小さい下位側サブフレームから行うことを特徴とする表示装置が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

高発光効率 / ストリーキング低減及び高輝度等の複数の特性を両立させることができる

。